

学校だより



平沼

横浜市立平沼小学校

令和2年8月31日

Mail ; y3hiranu@edu.city.yokohama.jp

URL ; <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/hiranuma/>

臨時休業から6か月

校長 長谷川絹子



平沼小の栗の木には立派な緑色のいががで、子どもたちは、どんな実ができるのか楽しみに見上げています。

今年は短い夏休みとなりましたが、子どもたちにとってどんな夏休みになったのでしょうか。

子どもたちの振り返りからは、「どこにも行けなかった。」「おばあちゃんたちに会えなかった。」など、例年とは違うことへの残念さが伝わってきました。しかし、感染症に配慮しながらも親子で物づくりを楽しんだり、鉄道スタンプラリーに参加したりなど、子どもたちのはじける笑顔が目に見えました。6年生からは、「夏休みに入る前から、どこにも行かないという前提だった。」「(臨時休業で)たくさん休んだのでもう2週間でいいかな。」「塾が忙しく、学校の宿題が大変だった。」と、少し違う雰囲気です。そして、どこにも行かれないからこそ「本をたくさん読んだ。」「野菜を育てた。」と好きなことや新たなことを楽しんだ声も聞くことができました。夏休み明けの子どもたちは大変落ち着いて学習に取り組んでいます。2年生が素敵な作文を書きましたのでご紹介します。(下記)

ちょうど半年前の2月末夕方、安倍総理大臣の緊急会見で臨時休業の要請が出され、職員室は大慌てとなり、その日は夜遅くまで臨時休業に向けての準備に追われました。この6か月、新型コロナウイルス感染症対策や臨時休業や再開後の教育活動は、初めてのことばかりで見通しがつかない中でしたが、よりよいものを目指して精一杯の手立てを模索してきました。保護者や地域の皆様も自粛や制約に戸惑いながらもご自身にあった新しい生活を創られてきました。しかし、半年たった今、この酷暑や制約のある生活、これからへの不安…に疲れや目に見えないストレスを抱えていらっしゃると思います。

大人や世の中が安全・安心のため

に力を尽くしている様を、子どもたちも子どもなりに理解し受け止め、きちんと振る舞うよい姿を見ることができます。頑張りすぎているようにも感じます。子どもたちの疲れやストレスも積み重なってきていると想定できます。表出した際には温かくていねいに寄り添っていきたいと思います。

今後も感染症や熱中症に配慮してまいります。ご支援、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

<こんなもの、見つけたよ>

先生しかのほれないかいだん

二年 せきやわ れい

体いくかんで先生だけがのほることができるとかいだんを見つけたよ。

かいだんは、上のへやにつながっていて、くるくるしている白いかいだんです。上のへやでは、体いくかんにあるスピーカーの音の大きさをだし、かめたり、スピーカーでこえを出したりしています。のほりたいなとわたしは思いました。

ぜひ、おかあさんやおとうさんも見てください。

ぎじゅつしつにあるもの

二年 松橋 ゆあ

わたしは、ぎじゅつしつにいきました。

ポイラーは、九十とあるそうです。ほかにあったのは、ごみばこが十八もありました。ねじもすう百本ありました。ぎじゅつしつには、いろいろなものがあったてすいと思えました。

「子どもたちだけでせつたいはいらなうてください。」

とむらもとさんがいっていました。もう一回いきたいとおもいました。